

## 2024年度（第20回）精密工学会賞受賞業績の紹介

### 鈴木宏正

鈴木宏正氏は、長年にわたり先駆的な3次元形状処理技術の研究開発に精力的に取り組み、今日のデジタルエンジニアリングの基礎を築いてこられました。特に最近のモノづくりに有用な高密度3次元メッシュ・点群処理に関する高度なアルゴリズムや、産業用X線CT計測データからの高精度・高効率な物体再構成・認識の基盤となる独自の手法を構築されました。その研究成果は多数の学術論文の発表にとどまらず、ソフトウェアとして実用化もされています。

また同氏は、精密工学会において現物融合型エンジニアリング専門委員会を設立し、初代委員長として産学連携活動を精力的に推進し、3次元形状スキャン技術を融合した新しい設計・生産手法を産業界に広く普及することで本国の設計技術の底上げに尽力されました。このような業績が評価され、同氏は本学会の技術賞・論文賞・学会賞をはじめ、国内外で多数の受賞をされております。学会活動としては、本学会の理事・フェロー、日本機械学会の部門長やフェロー、日本学術会議連携会員などを歴任されております。また、多くの欧文論文誌編集委員や国際会議議長・プログラム委員長も務めました。

このように、鈴木宏正氏はデジタルエンジニアリングの中心的研究者として、また本学会の産学連携活動推進のキーパーソンとして、学術界、さらに産業界へも多大なる貢献をされました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。



#### 略 歴

- 1980年 東京大学工学部精密機械工学科卒業
- 1986年 東京大学工学系研究科精密機械工学専門博士課程修了
- 1986年 豊田理化学研究所奨励研究員
- 1987年 東京大学教養学部助手
- 1994年 東京大学大学院工学系研究科助教授
- 2000～2006年 (株)エリジオン取締役(兼業)
- 2003年 東京大学大学院工学系研究科教授
- 2004年 精密工学会現物融合型エンジニアリング専門委員会委員長
- 2004～2008年 精密工学会理事
- 2005年 日本学術会議連携会員
- 2011年 日本機械学会フェロー
- 2013年 精密工学会フェロー
- 2023年 サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術研究組合顧問
- 2023年 東京大学名誉教授